

平成14年度 第1回
発注企業動向調査
結果報告書

平成14年5月
財団法人京都産業21

調査結果の概要

売上げについて

○売上状況について

前回調査と比較して、「増加」が 20.0%と 4.8 ポイント増加する一方で、「減少」が 38.8%で 17.9 ポイント減少しており、売上額の増加傾向があり、回復の兆しが見られる。

○今後の売上の見通しについて

上期においては「減少」と見通すものが 30.6%で「増加」(25.9%)を上回っているが、下期においては、逆に「増加」が 32.9%で「減少」(21.2%)を上回っており、先行き回復傾向がうかがえる結果となっている。

外注について

○外注利用状況について

前回調査と比較して、「増加」が 17.6%で 4.6 ポイントとわずかながら増加し、「減少」が 45.9%で 12.8 ポイント減少しており、増加傾向が見られるものの、「減少」が 45.9%と半数近くを占めており、依然として厳しい状況も見られる。

○今後の外注見通しについて

上期においては「減少」と見通すものが 35.3%で「増加」(16.5%)を大きく上回っているが、下期においては、「増加」、「減少」とともに 27.1%で同率となり、先行き増加傾向がうかがえる。

○年間の総外注費及び京都府内の割合について

2 割余りが京都府内の企業に外注されており、業種別では、金属製品 (33.8%)、精密機器 (35.0%) が 3 割以上を京都府内に外注している。

○外注企業に望む能力について (品質)

「要求どおりの加工精度」との回答が 26.9%と最も多く、次いで「バラツキの無い品質安定度」が 19.2%、「検査体制の強化」が 15.0%、「VE/VA 提案を含めた体制強化」14.5%、「工程管理の強化」が 14.1%となっており、前回調査と比べて大きな変化は見られない。

発注企業は、外注企業に対して精度の確保と品質の安定のための検査体制、工程管理の強化を求めているようである。

○外注企業に望む能力について (コスト)

「市場価格への対応」との回答が 22.7%と最も多く、次いで「発注内容に応じたコスト対応」が 20.7%、「V E/V A提案によるコスト提案」が 17.2%となっている。

市場価格が一段と低下する中で、発注企業のコスト意識が厳しくなっており、外注企業には厳しいコスト対応が要求されるとともに、コスト低減のための提案も期待されているようである。

○外注企業に望む能力について（納期）

「状況に応じた柔軟な納期対応」が 48.1%と最も高く、次いで「ジャストインタイムへの対応」が 26.7%、「納期管理、在庫管理能力」が 21.4%となっている。

外注企業に対して、コストアップすることなく、小回りを効かせた、フレキシブルな納期対応が求められているようである。

○新規外注先企業の情報収集について

「下請企業からの営業活動」との回答が 37.8%と最も多く、次いで「情報誌、企業名簿等からの情報収集」が 18.6%となっている。

現状では、外注企業自身の積極的な営業活動の重要性を示す結果となっており、受注企業の積極的な情報発信（企業名簿等への掲載、各種展示会への出展を含む）が重要であることがうかがえる。

○新規外注先企業の開拓について

新規外注先を「探していない」とする企業(74.1%)が「探している」(8.2%)と「将来的に探している」(15.3%)を合わせた割合（23.5%）を 50.6 ポイントと大幅に上回っている。

業種別では、「将来的に探している」ものを含めて、一般機器、精密機器では 3割以上の企業が新規外注先をさがしているものの、輸送用機器では、「探している」とする企業は見られない。

1. 調査概要について

(1) 調査目的 財団に登録する発注企業の動向を把握し、情報として提供
ことで、府内の下請企業の経営計画策定の一助とするとも
より効果的な受注活動等の促進を図り、併せて財団における
あっせん業務の円滑化を図る。

(2) 調査対象企業 財団に登録する機械金属関連発注企業 143 社

(3) 調査時期 平成14年3月末現在 ＊調査回収締切：4月26日

(4) 調査回収企業 85 社（回収率： 59.4 %）

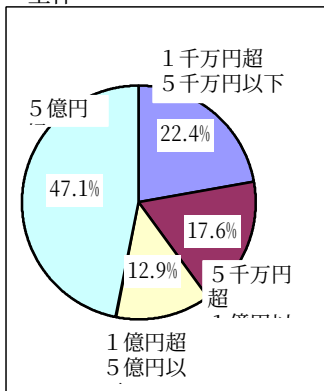
内訳 金属製品 14 社（16.5%） 一般機器 30 社（35.3%） 電気機器 18 社（21.2%）
輸送用機器 10 社（11.7%） 精密機器 13 社（15.3%）

【業種別資本金別回収企業数】

※上段：企業数、下段：比率%

	全体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
1千万円超	19	4	9	0	1	5
5千万円以下	22.4%	28.6%	30.0%	0.0%	10.0%	38.5%
5千万円超	15	0	7	4	1	3
1億円以下	17.6%	0.0%	23.3%	22.2%	10.0%	23.1%
1億円超	11	2	6	0	2	1
5億円以下	12.9%	14.3%	20.0%	0.0%	20.0%	7.7%
5億円超	40	8	8	14	6	4
	47.1%	57.1%	26.7%	77.8%	60.0%	30.8%
合計	85	14	30	18	10	13
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

【業種別資本金別回収企業数】 全体

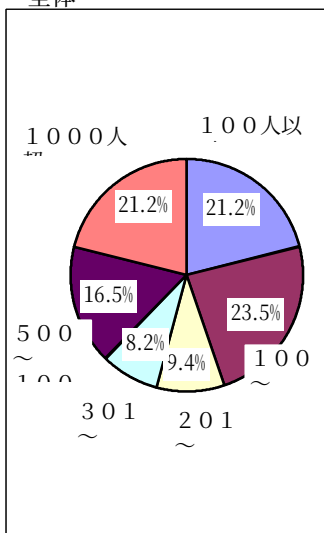


【業種別従業員別回収企業数】

※上段：企業数、下段：比率%

	全体	金属製品	一般機械	電気機器	輸送用機器	精密機器
100人以下	18	5	10	0	1	2
	21.2%	35.7%	33.3%	0.0%	10.0%	15.4%
101～200人	20	2	10	2	3	3
	23.5%	14.3%	33.3%	11.1%	30.0%	23.1%
201～300人	8	1	2	2	1	2
	9.4%	7.1%	6.7%	11.1%	10.0%	15.4%
301～500人	7	0	3	2	0	2
	8.2%	0.0%	10.0%	11.1%	0.0%	15.4%
501～1000人	14	5	2	3	2	2
	16.5%	35.7%	6.7%	16.7%	20.0%	15.4%
1000人以上	18	1	3	9	3	2
	21.2%	7.1%	10.0%	50.0%	30.0%	15.4%
合計	85	14	30	18	10	13
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

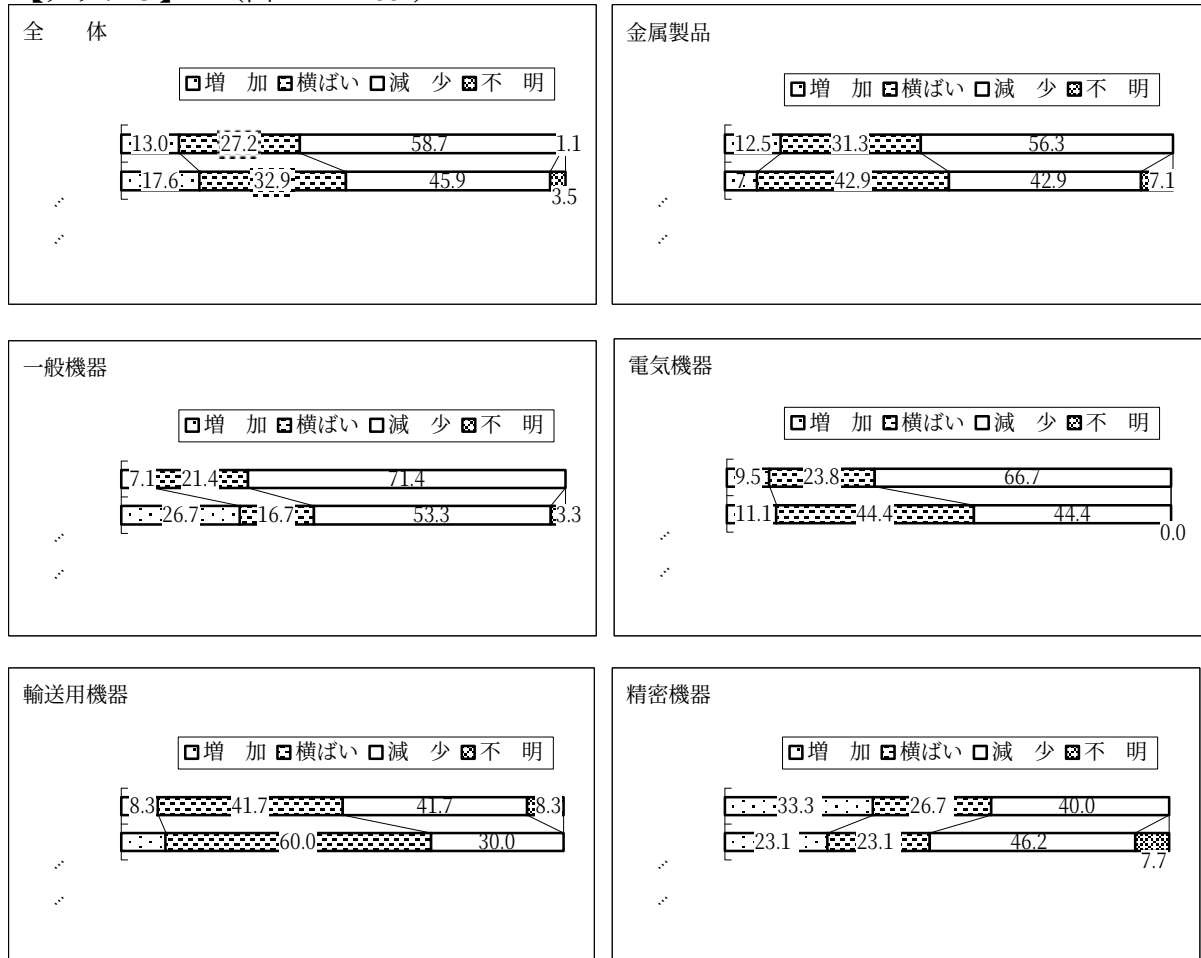
【業種別従業員別回収企業数】 全体



3. 外注について

(1) 平成13年度「下期」(13.10～14.03)と平成13年度「上期」(13.04～13.09)の外注額

【グラフ3】 (回 85)



＊業種別回答数

今回 (14.03)	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	15	1	8	2	1	3
横ばい	28	6	5	8	6	3
減 少	39	6	16	8	3	6
不 明	3	1	1	0	0	1
合計	85	14	30	18	10	13

【外注額の比較について】

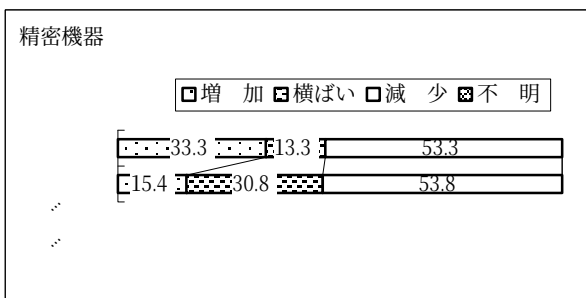
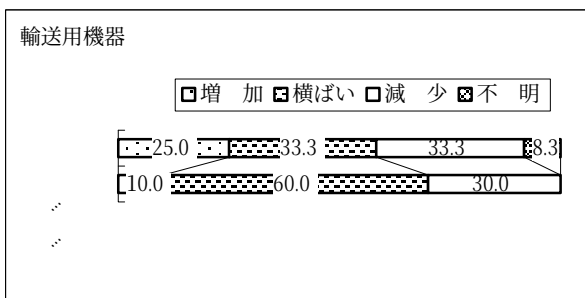
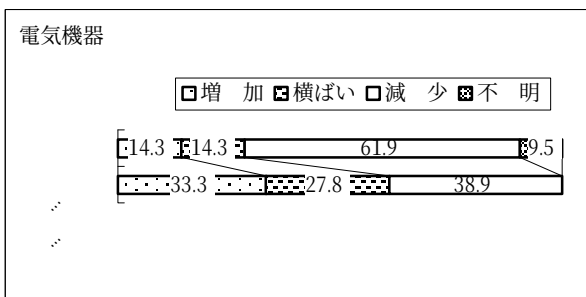
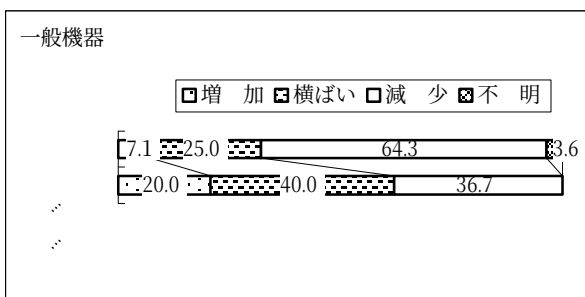
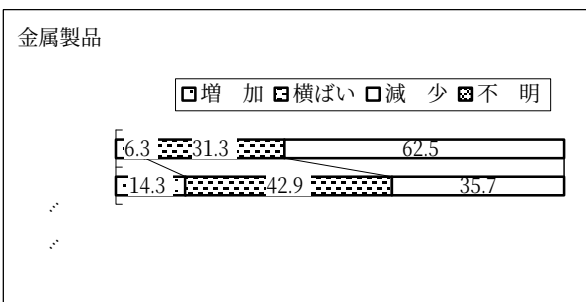
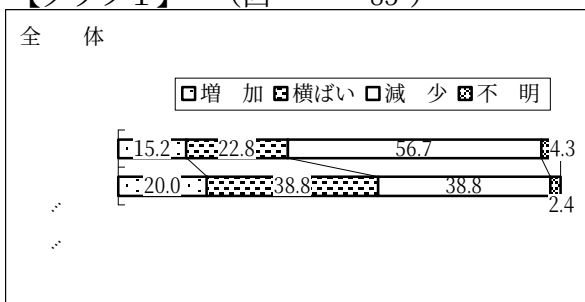
全体では、前回調査と比較して、「増加」が17.6%で4.6ポイントとわずかながら増加し、「減少」が45.9%で12.8ポイント減少しており、増加傾向が見られるものの、「減少」が45.9%と半数近くを占めており、依然として厳しい状況も見られる。

業種別では、一般機器で「増加」が2割近く増えているものの、金属製品、精密機器では「増加」が減っており、ばらつきが見られる。

2. 売上について

(1) 平成13年度「下期」(13.10～14.03)と平成13年度「上期」(13.04～13.09)の売上額

【グラフ1】 (回 85)



*業種別回答数

13年度下期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	17	2	6	6	1	2
横ばい	33	6	12	5	6	4
減 少	33	5	11	7	3	7
不 明	2	1	1	0	0	0
合計	85	14	30	18	10	13

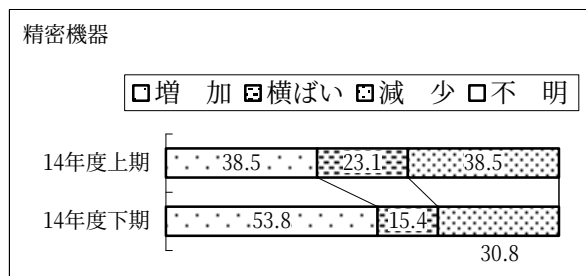
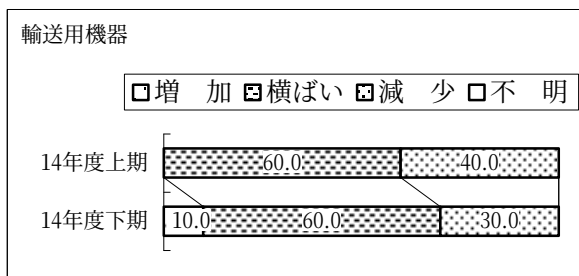
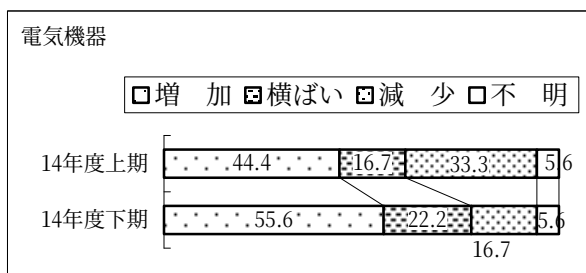
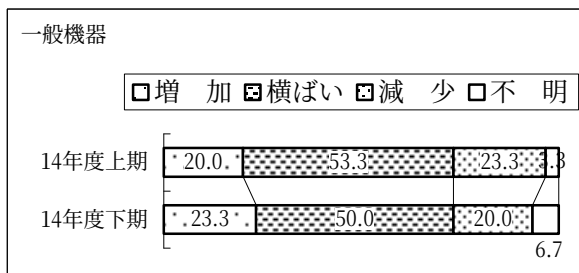
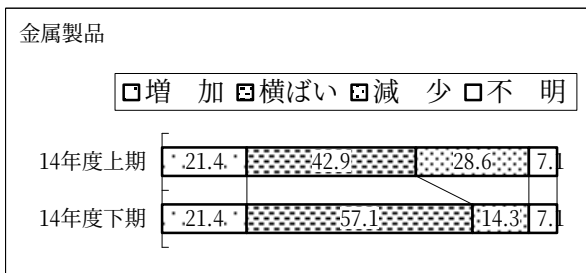
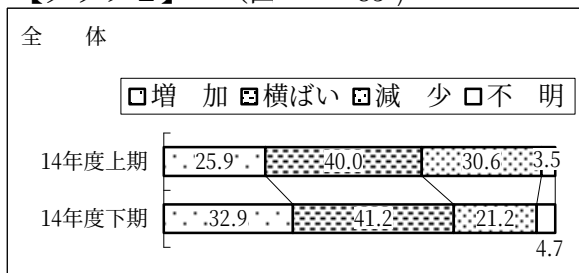
【売上状況の比較について】

全体では、前回調査と比較して、「増加」が20.0%と4.8ポイント増加する一方で、「減少」が38.8%で17.9ポイント減少しており、売上額の増加傾向があり、回復の兆しが見られる。

業種別では金属製品、一般機器、電気機器で増加傾向が見られるが、輸送用機器、精密機器で「増加」が減少しており、業種によるばらつきが見られる。

(2) 14年度の「上期」(14.04～14.09)及び14年度「下期」(14.10～15.03)の売上の見通し

【グラフ2】 (回 85)



＊業種別回答数

14年度上期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	22	3	6	8	0	5
横ばい	34	6	16	3	6	3
減 少	26	4	7	6	4	5
不 明	3	1	1	1	0	0
合計	85	14	30	18	10	13

＊業種別回答数

14年度下期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	28	3	7	10	1	7
横ばい	35	8	15	4	6	2
減 少	18	2	6	3	3	4
不 明	4	1	2	1	0	0
合計	85	14	30	18	10	13

【売上の見通しについて】

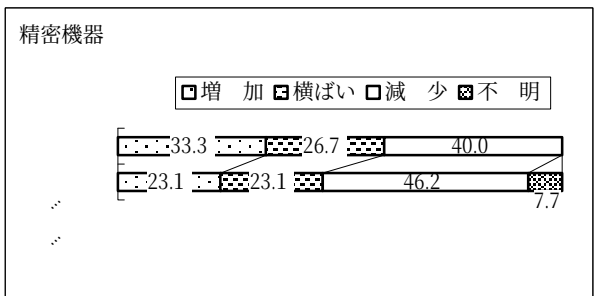
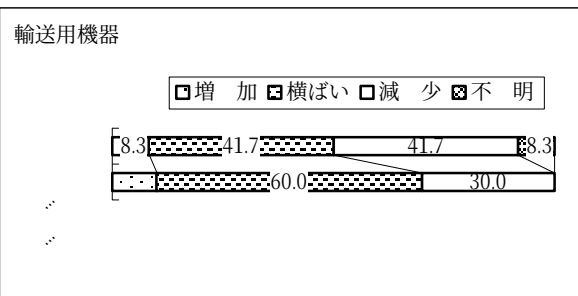
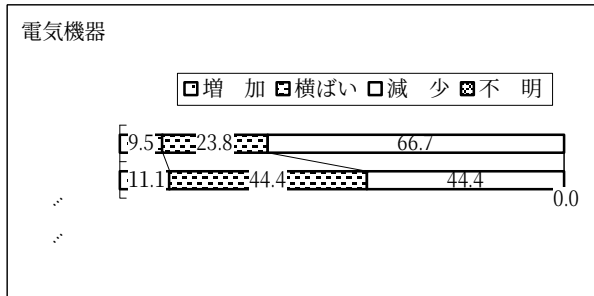
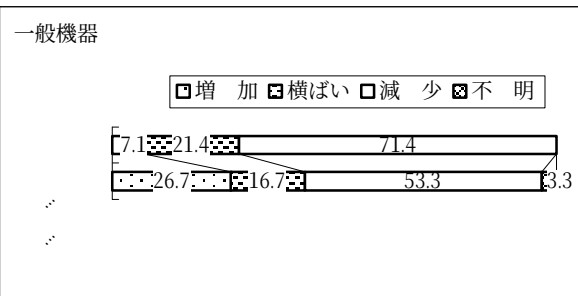
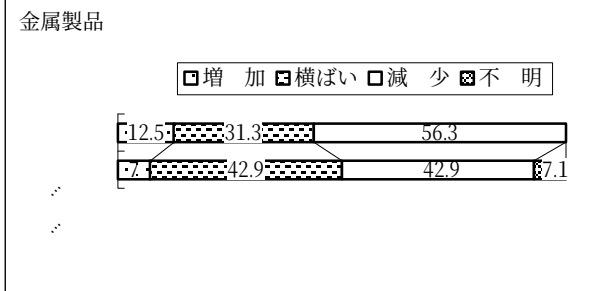
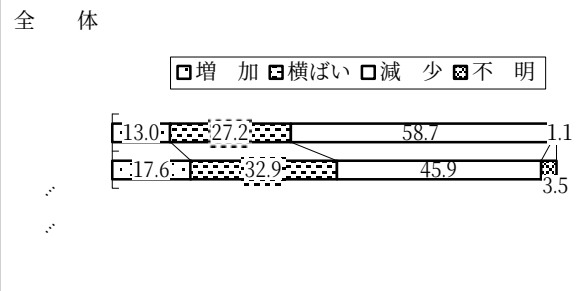
全体では、上期においては「減少」と見通すものが30.6%で「増加」(25.9%)を上回っているが、下期においては、逆に「増加」が32.9%で「減少」(21.2%)を上回っており、先行き回復傾向がうかがえる結果となっている。

業種別では、ばらつきが見られるものの、各業種とも先行き回復を見通す結果となっている。

3. 外注について

(1) 平成13年度「下期」(13.10～14.03)と平成13年度「上期」(13.04～13.09)の外注額

【グラフ3】 (回 85)



*業種別回答数

今回 (14.03)	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	15	1	8	2	1	3
横ばい	28	6	5	8	6	3
減 少	39	6	16	8	3	6
不 明	3	1	1	0	0	1
合計	85	14	30	18	10	13

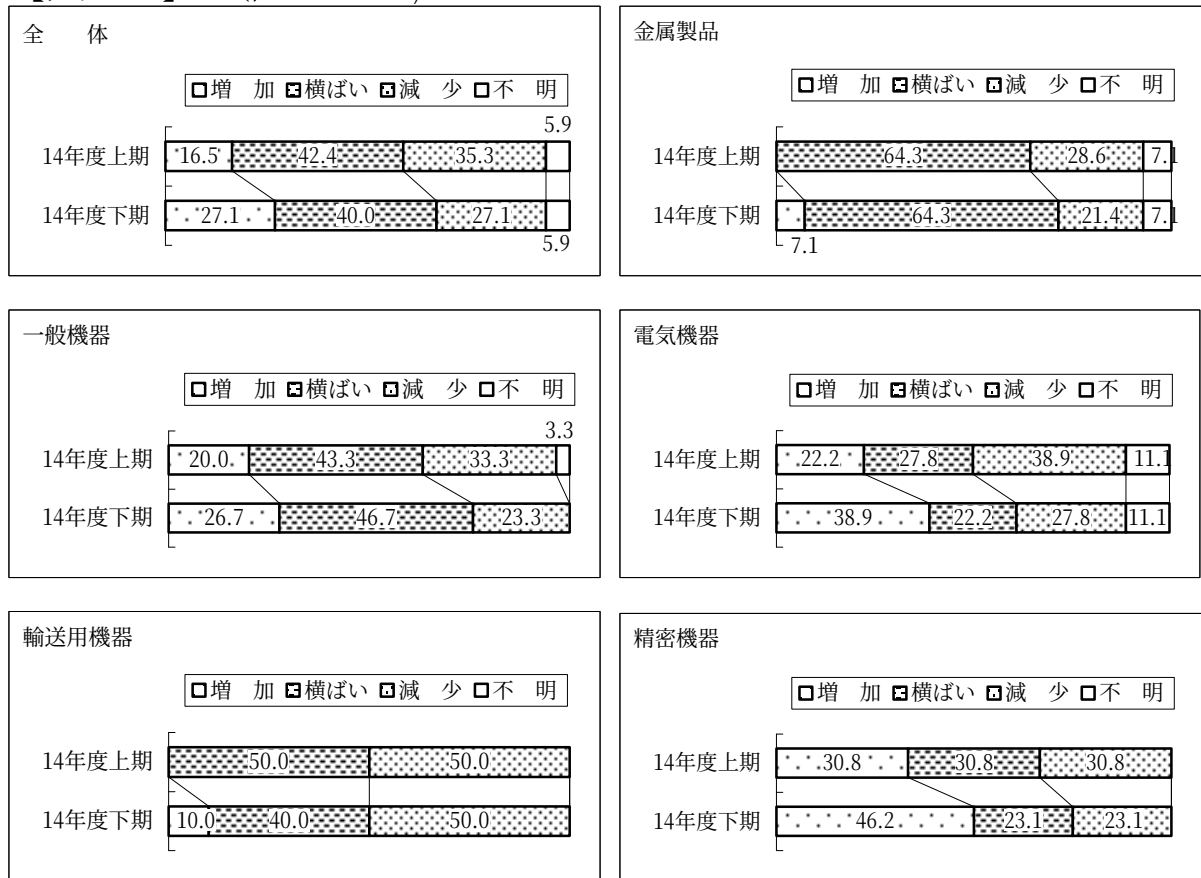
【外注額の比較について】

全体では、前回調査と比較して、「増加」が17.6%で4.6ポイントとわずかながら増加し、「減少」が45.9%で12.8ポイント減少しており、増加傾向が見られるものの、「減少」が45.9%と半数近くを占めており、依然として厳しい状況も見られる。

業種別では、一般機器で「増加」が2割近く増えているものの、金属製品、精密機器では「増加」が減っており、ばらつきが見られる。

(2) 14年度の「上期」(14.04～14.09)及び14年度「下期」(14.10～15.03)の外注の見通し

【グラフ4】 (回 85)



＊業種別回答数

14年度上期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	14	0	6	4	0	4
横ばい	36	9	13	5	5	4
減 少	30	4	10	7	5	4
不 明	5	1	1	2	0	1
合 計	85	14	30	18	10	13

＊業種別回答数

14年度下期	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
増 加	23	1	8	7	1	6
横ばい	34	9	14	4	4	3
減 少	23	3	7	5	5	3
不 明	5	1	1	2	0	1
合 計	85	14	30	18	10	13

【外注の見通しについて】

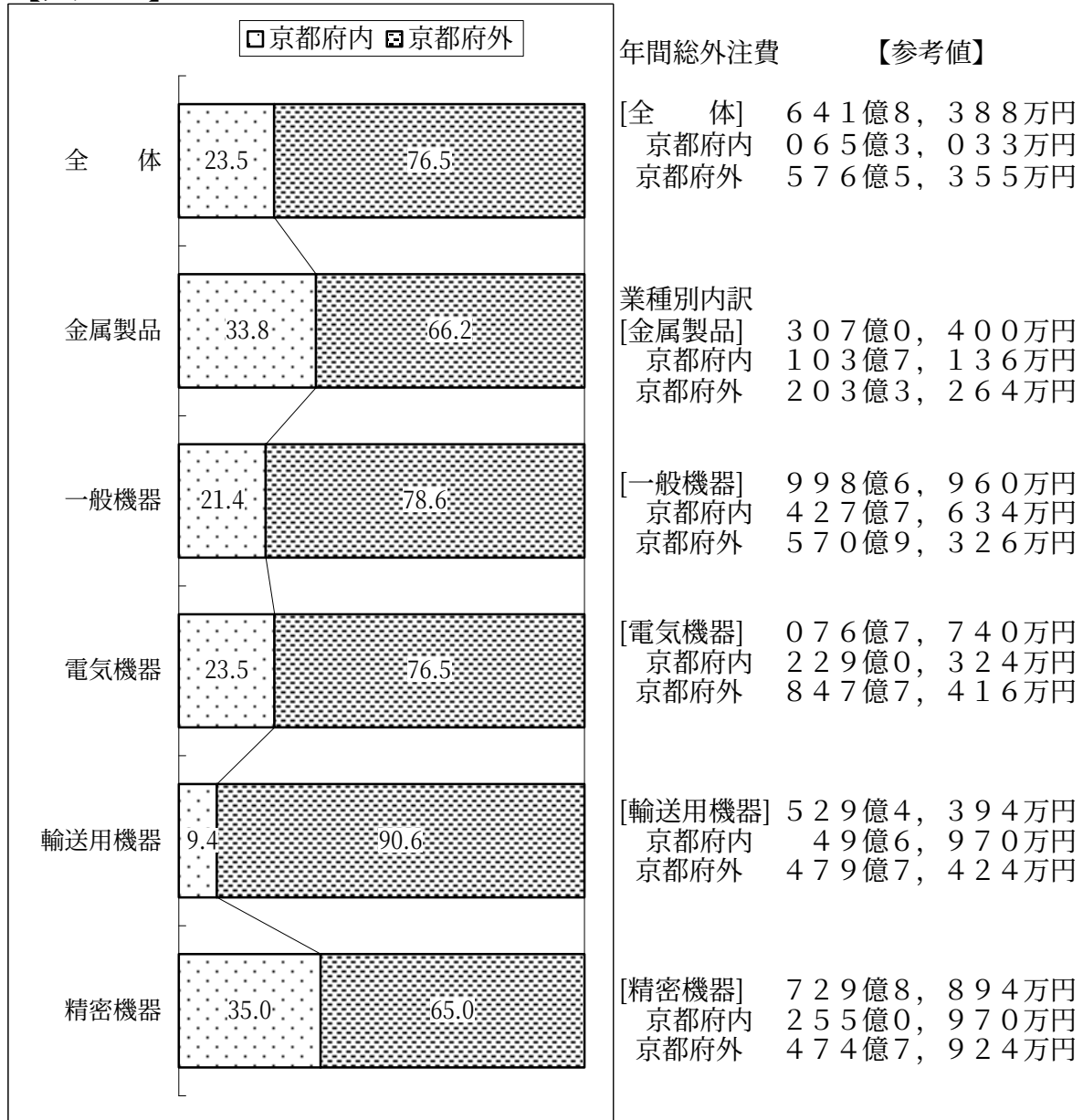
全体では、上期においては「減少」と見通すものが35.3%で「増加」(16.5%)を大きく上回っているが、下期においては、「増加」、「減少」ともに27.1%で同率となり、先行き増加傾向がうかがえる結果となっている。

業種別では、一般機器、電気機器、精密機器で「増加」の見通しが2割以上を占めており、先行きはさらに増加傾向が見られる。

(3) 13年度の総外注費及び京都府内の企業の割合について

＊本調査については未回答企業もあるため、調査結果は参考値とする。

【グラフ 5】



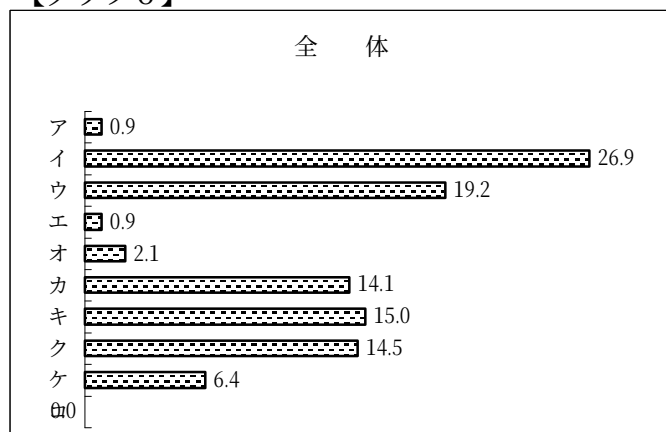
【年間の総外注費及び京都府内の割合について】

全体では、2割余りが京都府内の企業に外注されており、業種別では、金属製品（33.8%）、精密機器（35.0%）が3割以上を京都府内に外注している。輸送用機器は1割未満となっている。

なお、本調査については未回答企業もあるため、調査結果は参考値とする。

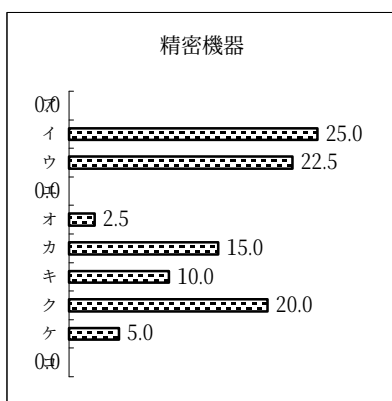
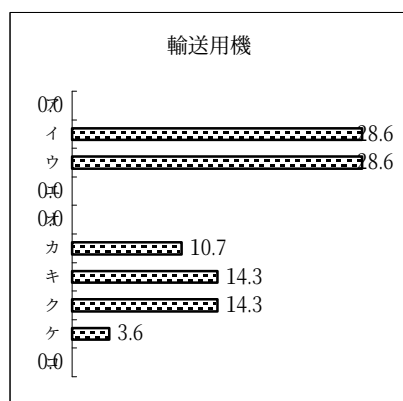
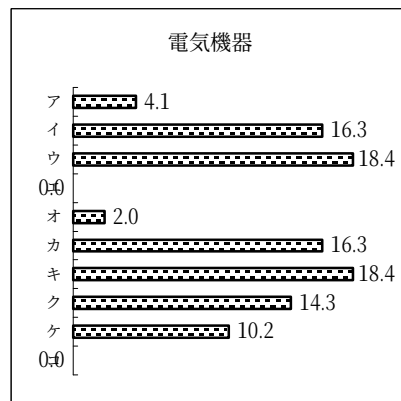
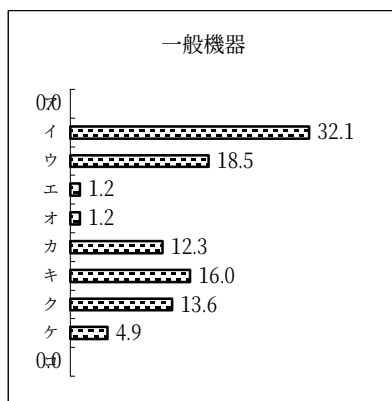
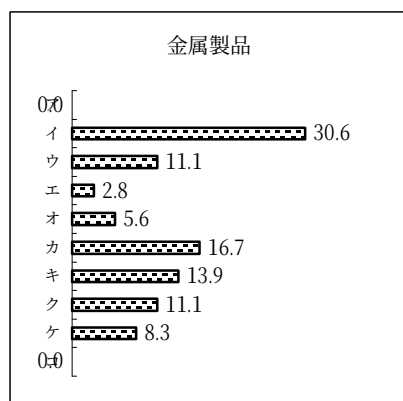
(4) 外注企業に望む能力について

①品質について外注企業に望むこと 【グラフ6】



*重複回答（回計数 234）

グラフの項目	回答数
ア. 要求以上の加工精度	2
イ. 要求どおりの加工精度	63
ウ. バラツキの無い品質安定度	45
エ. 新鋭設備の導入	2
オ. 職人（技術者）の育成	5
カ. 工程管理の強化	33
キ. 検査体制の強化	35
ク. VE/VA提案も含めた体制	34
ケ. ISOなどの要求	15
コ. その他	0



*業種別回答数

機械製品	36
一般機器	81
電気機器	49
輸送用機器	28
精密機器	40
計	234

【品質について】

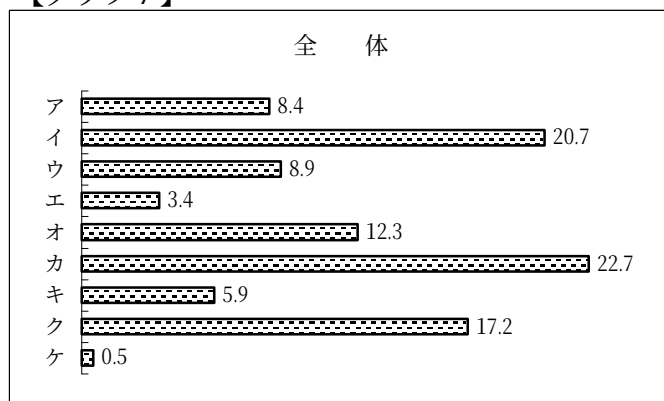
「要求どおりの加工精度」との回答が26.9%と最も多く、次いで「バラツキの無い品質安定度」が19.2%、「検査体制の強化」が15.0%、「VE/VA提案も含めた体制強化」14.5%、「工程管理の強化」が14.1%となっており、前回調査と比べて大きな変化は見られない。

発注企業は、外注企業に対して精度の確保と品質の安定のための検査体制、工程管理の強化を求めているようである。

(5) 外注企業に望む能力について

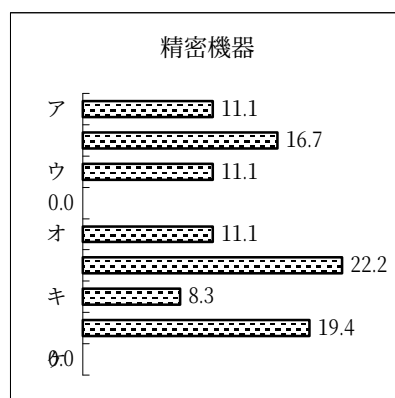
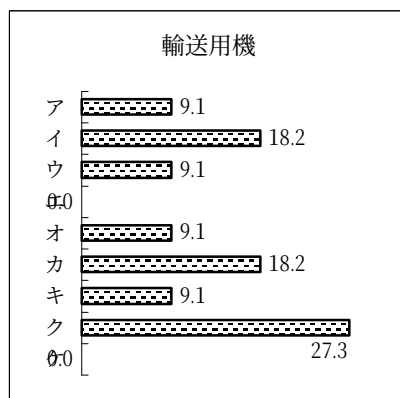
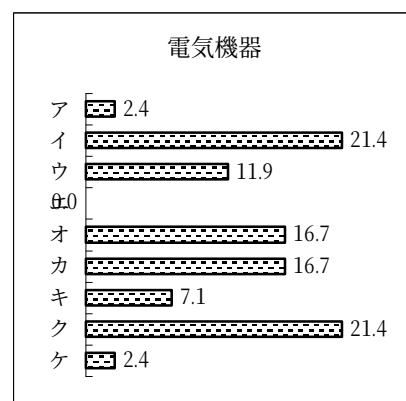
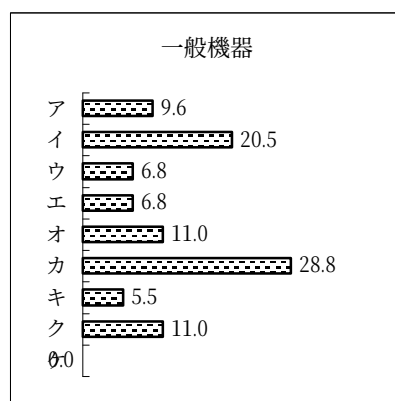
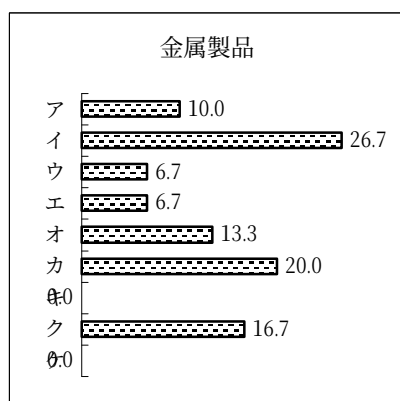
②コストについて外注企業に望むこと

【グラフ7】



*重複回答（回答数 203）

グラフの項目	回答数
ア. 要求以上の低コスト対応	17
イ. 発注内容に応じたコスト対応	42
ウ. 適正な見積書作成能力	18
エ. 新鋭設備の導入によるコストダ	7
オ. 工程管理の強化によるコストダ	25
カ. 市場価格への対応	46
キ. 海外調達、進出等による低コストメ	12
ク. VE/VA提案によるコスト削減	35
ケ. その他	1



*業種別回答数

機械製品	30
一般機器	73
電気機器	42
輸送用機器	22
精密機器	36
計	203

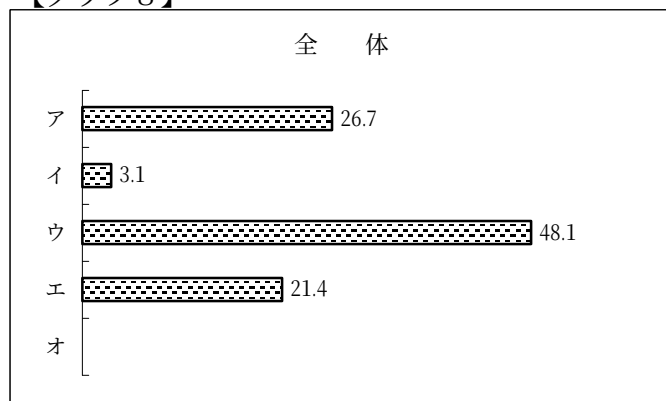
【コストについて】

「市場価格への対応」との回答が22.7%と最も多く、次いで「発注内容に応じたコスト対応」が20.7%、「VE/VA提案によるコスト提案」が17.2%となっている。

市場価格が一段と低下する中で、発注企業のコスト意識が厳しくなっており、外注企業には厳しいコスト対応が要求されるとともに、コスト低減のための提案も期待されているように

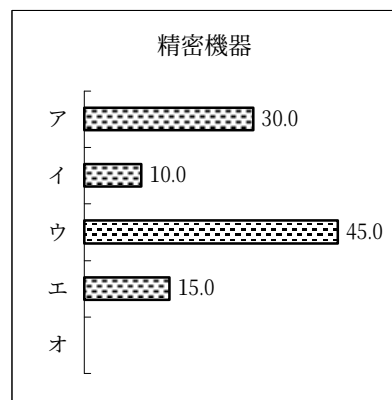
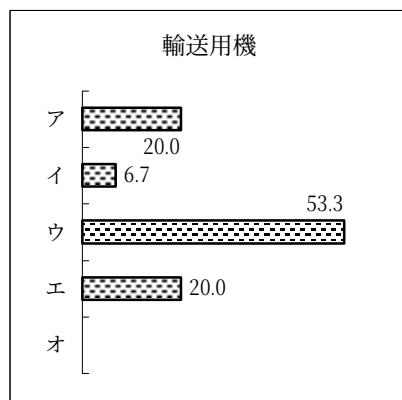
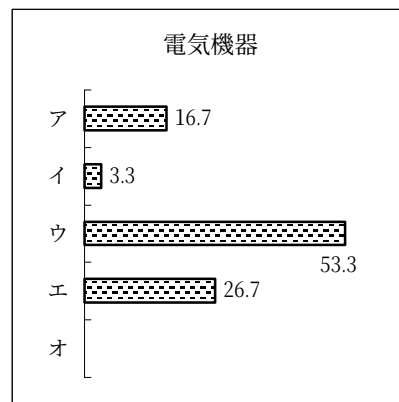
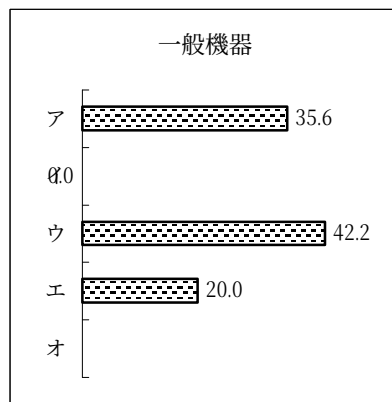
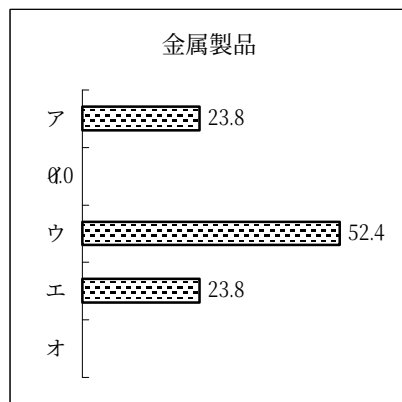
(5) 外注企業に望む能力について

③納期について外注企業に望むこと 【グラフ8】



＊重複回答（回答数 131）

グラフの項目	回答数
ア. ジャストイン・タイムへの対応	35
イ. 在庫保有等による対応	4
ウ. 状況に応じた柔軟な納期対応	63
エ. 納期管理、在庫管理能力の強化	28
オ. その他	1



＊業種別回答数

機械製品	21
一般機器	45
電気機器	30
輸送用機器	15
精密機器	20
計	131

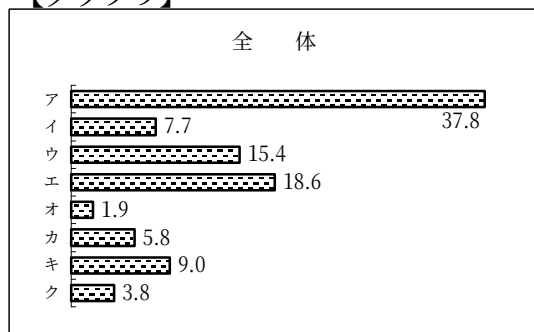
【納期について】

「状況に応じた柔軟な納期対応」が48.1%と最も高く、次いで「ジャストインタイムへの対応」が26.7%で、「納期管理、在庫管理能力」が21.4%となっている。

外注企業に対して、コストアップすることなく、小回りを効かせた、フレキシブルな納期対応が求められているようである。

(6) 新規外注先企業を探す場合の情報収集の方法について

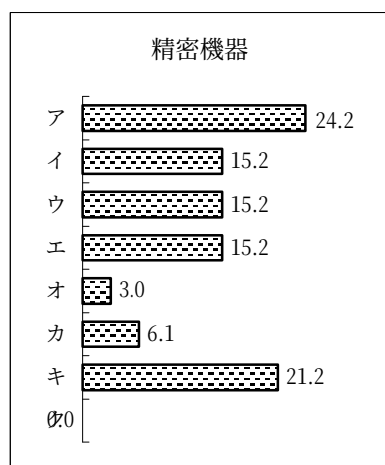
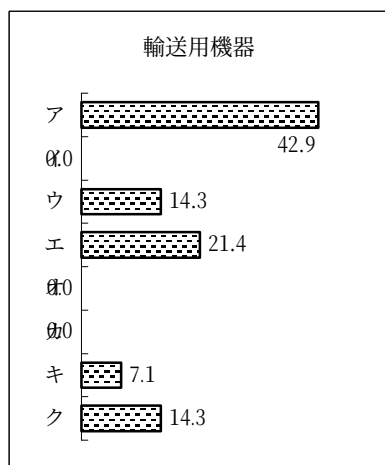
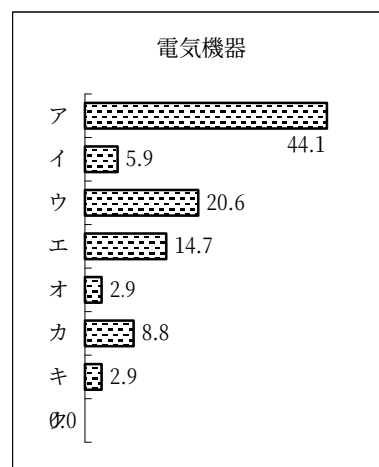
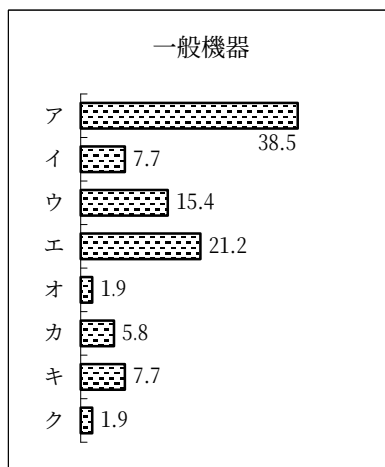
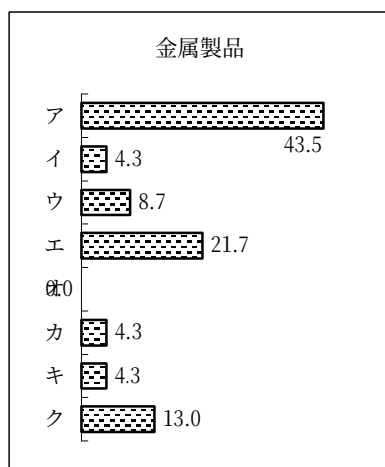
【グラフ 9】



※重複回答（回答数 156）

グラフの項目

項目	回答数
ア. 下請企業からの営業活動	59
イ. 財団（協会）からのあっせん	12
ウ. テクノフェア等の各種展示会見学	24
エ. 情報誌、企業名簿等からの情報収集	29
オ. 説明会を開催し、資材調達情報を公開	3
カ. インターネットホームページで資材調達先を公募	9
キ. 公社（協会）開催による商談会への参加	14
ク. その他	6



※業種別回答数

機械製品	23
一般機器	52
電気機器	34
輸送用機器	14
精密機器	33
計	156

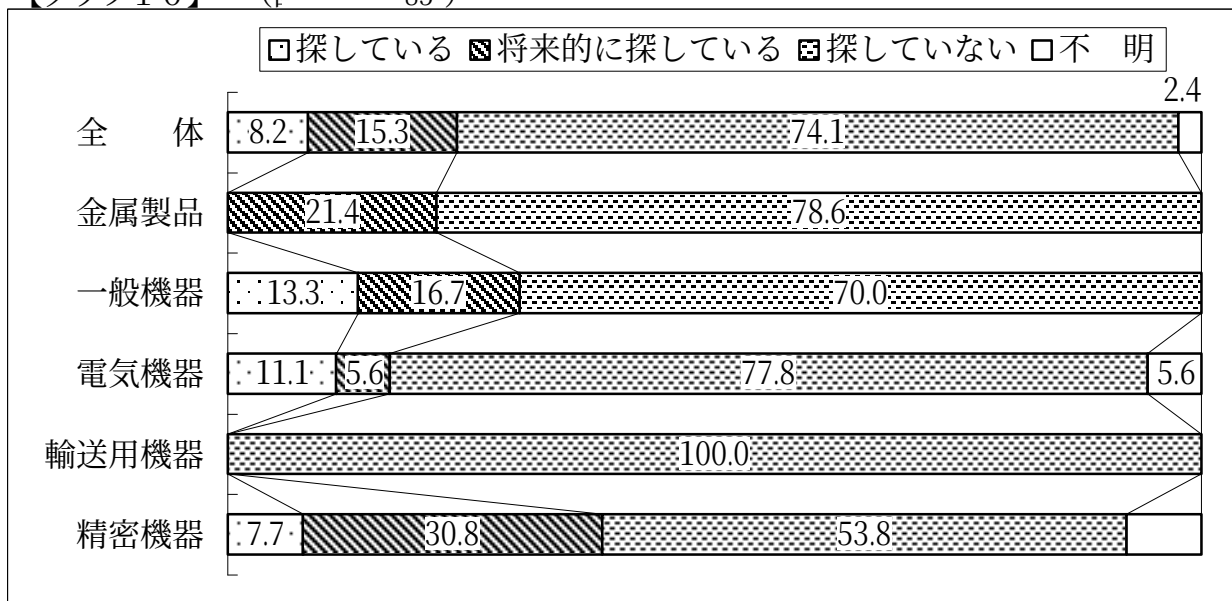
【新規外注先企業の情報収集について】

「下請企業からの営業活動」との回答が37.8%と最も多く、次いで「情報誌、企業名簿等からの情報収集」が18.6%となっている。

現状では、外注企業自身の積極的な営業活動の重要性を示す結果となっており、受注企業の積極的な情報発信（企業名簿等への掲載、各種展示会への出展を含む）が重要であることがうかがえる。

【(7) 新規外注先企業の開拓について】

【グラフ10】 (1 85)



*業種別回答数

	全 体	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器
探している	7	0	4	2	0	1
将来的に探している	13	3	5	1	0	4
探していない	63	11	21	14	10	7
不 明	2	0	0	1	0	1
合計	85	14	30	18	10	13

【新規外注先企業の開拓について】

全体として、新規外注先を「探していない」とする企業(74.1%)が「探している」(8.2%)と「将来的に探している」(15.3%)を合わせた割合(23.5%)を50.6ポイントと大幅に上回っている。

業種別では、「将来的に探している」ものを含めて、一般機器、精密機器では3割以上の企業が新規外注先をさがしているものの、輸送用機器では、「探している」とする企業は見ら